

# 日能研労働組合ファックスニュース

一人はみんなのため、みんなは一人のために

<2009/05/28>

■発行■日能研労働組合  
〒650-0025 神戸市中央区相生町 4-4-6  
TEL・FAX (078) 371-2991  
<http://www.nichinouken-union.com/>  
email: info@nichinouken-union.com

5月21日団体交渉報告

## ○夏期賞与17%超カット○

詳細は教室の掲示板の数値をご覧ください。

## ○賃金カットは労働者へのしわ寄せです。○

経営環境が悪化しているのは、私たちも理解できる事です。しかしながら、賃金は生活がかかっているのです。十分な経営努力と説明がない限り受け入れることができるものではありません。

団交の場で、私たちは ① KNSの財務状況を明らかにすること ② 経営会議メンバーの所得を明らかにすることを求めましたが、会社側は拒否しました。

これでは、説明責任を果たしているとは言えません。

## ○労働者だけが責任(=評価)を負わされるのは不当だ。○

生徒を増やすために、現在様々なイベントが展開されています。私たちも上長(=経営会議)の指示のもと日夜努力をしています。しかしながら、展開されたイベントや新規開校に関して、その企画が成功なのか失敗なのか、経営陣の責任に関することは、一切明らかにされていません。その一方で、責任をとるところか、取締役は増え続けています。

私たちを「評価」するのであれば、経営の苦しい現在、経営陣は率先して、自分たちの経営責任を明らかにするべきではないでしょうか。あるいは、会社側は「文句のある奴は、辞めてしまえ。代わりはいくらでもいる」とでもかंगाえているのでしょうか。

## ○KNSは日能研と一体です。○

私たちは再三、KNSの財務状況を求めてきています。そもそも、同じ子供たちを相手に仕事をしているのに、別会社とはおかしい。苦しい状況なのであれば、(以前のように、)一体化させて、無駄な出費(社長たちの給与かもしれませんが)を削る努力が必要ではないのでしょうか。

団交の席では、「KNSと同様のサービスをする会社が業務を70%で請け負うとしたら、KNSを切って乗り換えるか」という質問に対して、西井取締役以下3名を完全に沈黙しました。これでは、社長の「2つめのポケット」を自白したようなものです。